



卓 話

ロータリー財団標語「世界でよいことをしよう」
「Doing Good in the World」
(1917年 財団創始者 アーサー・C・クラフの言葉)

○ロータリー財団とは
ロータリー財団は正式には「国際ロータリー (RI) のロータリー財団」です。ロータリー財団はロータリアンからの寄付を原資として国際ロータリーが果たすべき“地区・全国・国際の各レベルの人道的、教育的奉仕活動”を行うための組織です。そして国際ロータリーはロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、世界理解と平和を達成する努力をしています。ロータリー財団の行うプログラムこそがロータリーの奉仕活動そのものです。ロータリー財団は国際ロータリーの意を体し意向に沿って奉仕活動をしており、密接なつながりを持って相互協力しています。

○活動内容 (プログラム)

- A 人道的プログラム……地区補助金、マッチンググラント、3H補助金
- B 教育的プログラム……国際親善奨学生、世界平和フェロシップ、研究支援グループ
- C ポリオプラス・プログラム……ポリオ撲滅

○寄付

年次寄付 (毎年一人100米ドル)、恒久基金寄付、使途指定寄付 (例: ポリオ)、大口寄付など

○寄付と資金の用途、流れ

- ・寄付はすべて奉仕活動に利用 (管理費支出を含む)
- ・資金運用益を出し、利用されている
- ・資金の流れが明確である

「ロータリー財団について一層のご理解を」

地区ロータリー財団委員会

委員長 古宮 誠一氏

私は昨年、2007-08年度RID-2580地区ロータリー財団委員会の委員長に任命され、規定により引き続き2008-09年度、2009-10年度、都合3年にわたり委員長を務めることになりました。ロータリアンの皆様には宜しくご支援下さいますようお願い申し上げます。



一般に、ロータリアンの皆様は「ロータリー財団」と聞けばすぐ「寄付」と思われるでしょう。事実、大多数の皆様は「年次寄付」として毎年一人100米ドルの寄付をされ、さらに「恒久基金寄付」として1000米ドルを寄付された方も多いと存じますし、ポリオ撲滅の寄付もされています。しかし、「ロータリー財団」とは何か、活動内容 (プログラム) や寄付されたお金の使い道、お金の流れなどについて、よく理解されている方は比較的少ないのではないかと思います。まずロータリー財団の事をよりよく理解して頂く事が、ロータリアンが快く前向きにご寄付をして頂ける事につながると存じます。

私共「地区ロータリー財団委員会」の役割はロータリアンの皆様にロータリー財団の活動 (プログラム)、資金の流れなどについて、ロータリー財団セミナーや卓話を通じ、又ある場合は「ロータリーの友」、「ガバナー月信」などを通じて情報を提供し、共に勉強していく事であり、各クラブにご支援、ご協力する事です。そしてガバナーは当委員会の職権上の委員であり、ガバナーがロータリアンに財団への寄付を要請される際、それを支援、協力するのが委員会の大きな務めです。